

TRAFFIC SCOPE

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

交通参加者の行動を観察する

「止まれ」の標識がある場所を通行する自転車を観察する

DATA 基礎情報

自転車関連事故の約半数は
出会い頭衝突によるもの

2023年の自転車乗用者（第1・第2当事者※1）の交通事故件数（以下、自転車関連事故）を事故類型別にみると、出会い頭衝突が約半数（46.5%）を占め、最も多い。また、法令違反別では安全不確認（27.7%）、動静不注視※2（16.4%）が多い（構成率は「違反なし」を除いたもの）。つまり、自転車側の安全確認が不十分だったことが出会い頭衝突の一因になっていると考えられる。

「止まれ」の標識がある場所を通行する際は自転車も車両であるため、停止線の手前で止まらなければならない。その上でゆっくり前進し、交差道路の安全を確認してから通過する必要がある。しかし、これを行っていない自転車もいる。

今回は、東京都内の2カ所の交差点で「止まれ」の標識がある場所を通行する自転車を観察した。

※1 第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽い者か、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。
※2 相手の存在を発見していたが、危険はないと判断し、その動静の注視を怠ったこと。

WATCHING 観察

自転車の多くが停止線の
先でも止まらない

観察場所Aは東京都板橋区にある信号機のない交差点。すぐ近くに国道17号があるため、クルマやバイクの往来が途切れることはなかった。1時間に一時停止場所を通過した自転車は64台。このうち停止線の手前で止まった自転車は1台もいなかった。停止線を越えた先で止まった自転車は11台、一度も止まらなかった自転車は53台だった。停止線の手前で一時停止した自転車はいなかったが、9割近くは左右確認を行っていた。

国道17号から進入してクルマやバイクが多いこともあり、走りながら交差する道路の様子を確かめていた。優先道路を走るクルマやバイクも路地から自転車が進入してくることを予測し、減速して通過していた。観察場所Bは東京都世田谷区の都道と接する交差点。1時間に一時停止場所を通過した自転車は150台。このうち停止線の手前で止まったのは2台。停止線を越えた先で止まった自転車は4台、一度も止まらなかったのは144台だった。一時停止場所に向かって下り坂になっていることから、坂道を下る自転車からは自分に向かってくる歩行者や自転車を見下ろせる。そのためか、一時停止して左右確認する意思は感じられなかった。



下ってくる自転車と歩道から曲がってくる自転車が交錯する場面もあった（観察場所B）

ADVICE アドバイス

自転車は車両であることを自覚し
一時停止と左右確認を

観察場所A、Bいずれも停止線はおろか停止線の先でも止まらない自転車がほとんどだった。自転車利用者の年齢層も小学生から高齢者まで幅広い。このような自転車の存在が、出会い頭衝突を引き起こしているといえるだろう。ドライバー・ライダーは自転車が左右の安全を確認せず、交差点に進入してくることを予測しておく必要がある。

自転車利用者は「止まれ」の標識がある場所を通過する際、まず停止線の手前で一時停止。そして、交差道路を通行する車両や歩行者の存在を確認できる位置までゆっくり前進し、さらに停止して左右を確認しなければならない。クルマやバイクが止まらずに通過するケースは見られなかった。まず、運転免許を持っている自転車利用者が自転車も車両であるという自覚を持ち、率先して停止線で止まることを心がけてほしい。大人がこどもに模範となる行動を示すべきではないだろうか。

観察結果

観察場所A

東京都板橋区板橋2丁目付近
観察日/2月20日(火)
観察時間/8:45~9:45
天候/曇り



停止線の手前で止まる自転車は1台もいなかった



左右を確認せずスピードを出して交差点を通過する自転車もいた



自転車が止まるケースは交差する道路にクルマやバイクがいる時だけだった

●自転車の一時停止・状況(台)					合計
停止線の手前で 停止した	越えた先でも 停止した	0	左右確認あり	0	0 (0%)
	越えた先でも 停止しなかった	0	左右確認なし	0	
停止線の手前で 停止しない	越えた先で 停止した	11	左右確認あり	56	64 (100%)
	越えた先でも 停止しなかった	53	左右確認なし	8	

観察場所B

東京都世田谷区桜1丁目付近
観察日/2月20日(火)
観察時間/16:00~17:00
天候/曇り



下り坂の先に停止線が設けられている



保護者が止まらなると後方のこどもも止まらない



停止線の手前で停止する自転車はわずかだった

●自転車の一時停止・状況(台)					合計
停止線の手前で 停止した	越えた先でも 停止した	2	左右確認あり	2	2 (1.3%)
	越えた先でも 停止しなかった	0	左右確認なし	0	
停止線の手前で 停止しない	越えた先で 停止した	4	左右確認あり	8	148 (98.7%)
	越えた先でも 停止しなかった	144	左右確認なし	140	